

校庭の樹木を調べ、身近な樹木と親しくなろう

～樹木名板作り～

四日市市立橋北中学校



与えられた資料から樹木名をタブレットや図鑑で調べる



樹木の測定方法の学習



樹木名板を取りつけ



各班から、それぞれで調べた樹木の特徴や名前の由来などの発表

ねらい

- ・校庭の木を観察することにより、木の生態を知り、木に興味を持つ
- ・調べた木の樹木名板を作成し、木の大切さを日ごろから感じる態度を育成する

取組内容

- (1) 「校庭の樹木名を調べる」
 - ① 班ごとに2種類の樹木写真、葉、枝のラミネートカードを配布し、タブレット・図鑑、また実際に校庭の樹木を見て、樹木名や特徴を調べました。
 - ② 調べた樹木名が正しいかどうか森のせんせいに判定してもらい、正解後、樹木名板を作成しました。
- (2) 校庭の樹木の測定・観察、樹木名板設置
 - ① 2種類の樹木の測定方法や測定道具の説明を受け、実際にその樹木の胸高直径や樹高を測定しました。
 - ② 樹形、葉の形、樹皮、根など実物を見て、その樹木の特徴を観察しました。
 - ③ 2種類の樹木名板を取り付けました。
- (3) 各班からの発表
 - ① 各班から調査内容と、感想を発表しました。
 - ② 森のせんせいからそれぞれのコメントをもらいました。

内容	・樹木測定・観察 ・樹木名板づくり
時間	1 時間 30 分（総合的な学習の時間）
場所	校庭、体育館
対象	1 年生 30 人
講師	森のせんせい：認定NPO法人森林の風
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 日常生活の中で、木に触れることが少ない生徒にとって、とても貴重な体験授業となりました。この授業を通して、木に対する「見る・観る・診る」という態度が養われたと思います。また、樹木名板作成の体験を生かし、今後も樹木に対する関心が広がるよう取り組んでいきます。